

新三種の神器

JJ1SXA/池

TWO-FORTY誌・第91号(平成27年3月発行)に「三種の神器」という記事を載せましたが、今回は改めて「新三種の神器」です。

1950年代後半、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫の家電3品目が「三種の神器」として喧伝されましたが、2003年1月31日の小泉首相施政方針演説で、小泉首相は、「食器洗い乾燥機・薄型テレビ・カメラ付携帯電話」を「新三種の神器」と命名し、「欲しいものが無いと言われる現在でも、新しい時代をとらえた商品の売れ行きは伸びている」と述べた。

この2003年頃から2010年頃にかけて急速に普及したデジタル家電の「デジタルカメラ・DVDレコーダー・薄型テレビ」はデジタル三種の神器と呼ばれた。

そんな時代を経て、2019年の今は、「ロボット掃除機、全自動洗濯乾燥機、食器洗い機」が共働き家庭などで「新三種の神器」と言われている。

我が家には、新三種の神器は一つも無い、デジタル三種の神器までは、何とか揃えてきたが、年金生活で余裕が無いというのもあるが、負け惜しみに聞こえるだろうが、余り必要性を感じていないのも事実だ。

「ロボット掃除機」は狭い生活空間では本当に必要では無い、「全自動洗濯乾燥機」も乾燥機の機能は必要無く、「全自動洗濯機」があれば十分だ、「食器洗い機」も、二人分だけの食器は、手洗いで簡単に済む、余り楽をすることばかり考えてはいけな、共働き家庭」は、はるか昔の話、サンデー毎日の身には暇を作る必要が無い。

この「新三種の神器」について、価格COMのページで売れ筋ランキングで価格を見てみた、「ロボット掃除機」の売れ筋1位から5位までは、¥31,869、¥45,800、¥50,733、¥76,429となっている、安い物で¥31,869、高い物は76,429だ、5位以下全てを見ると安い物は¥10,000を切る製品もある、高い物は¥100,000を越す物もある、1位～5位までの平均価格は、¥46,966だ、¥50,000弱という所か。

同じように、「全自動洗濯乾燥機」、「食器洗い機」についても同サイトで調べて見た、「全自動洗濯乾燥機」は、¥32,750、¥133,100、¥76,453、¥162,899、¥41,008だ、安い物は、「簡易乾燥機能付洗濯機」で高い物は、「洗濯乾燥機」となっている、平均価格は、¥89,242だが、「簡易乾燥機能付洗濯機」3機種平均価格は¥50,070で、「洗濯乾燥機」2機種平均は、¥147,999となる、矢張り簡易で無い「洗濯乾燥機」となると結構な価格だ、¥200,000を越す物もある、次いで、「食器洗い機」の方は、¥53,440、¥46,700、¥53,948、¥82,800、¥33,500となっていて、余り価格差は感じない、平均価格は、¥54,077だ。

「新三種の神器」の価格を全く単純に平均すると、¥83,014(但し、簡易乾燥機能付洗濯機を省き、洗濯乾燥機の価格で平均)、¥250,000弱で「新三種の神器」全部揃うということだ、これは、一般家庭にとって高いのか、安いのか、はたまた適正価格なのか？

我が家でも、一寸無理すれば何とかなりそうな金額だが、前述の通り購入することは無い、次に、「新々三種の神器」が現れる頃にはちゃんと生活できているのか、いないのかという年齢になっている、残念で寂しいが、それが現実だ、無線を続けられていても、キッチン用具の新調は関係無いただろう、無線機の新調も無いただろう、現在使用中のリグを使い続けることになるが、故障で修理不能ならそれで終わりだ、長持ちしてくれと祈るのみ。